



## 2020年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年6月11日

上場会社名 株式会社 シャノン 上場取引所 東  
 コード番号 3976 URL https://shanon.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 健一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理担当 (氏名) 友清 学 TEL (03) 6743-1551  
 四半期報告書提出予定日 2020年6月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年10月期第2四半期の連結業績（2019年11月1日～2020年4月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第2四半期	965	7.8	65	—	62	—	60	—
2019年10月期第2四半期	895	5.7	△29	—	△39	—	△40	—

(注) 包括利益 2020年10月期第2四半期 59百万円 (—%) 2019年10月期第2四半期 △39百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第2四半期	42.25	42.06
2019年10月期第2四半期	△28.86	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、2019年10月期第2四半期は、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年10月期第2四半期	1,168	508	43.4
2019年10月期	991	355	35.7

(参考) 自己資本 2020年10月期第2四半期 507百万円 2019年10月期 354百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年10月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年10月期の連結業績予想（2019年11月1日～2020年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,710	△7.9	△26	—	△29	—	△31	—	△21.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年10月期 2 Q	1,445,550株	2019年10月期	1,390,100株
② 期末自己株式数	2020年10月期 2 Q	50株	2019年10月期	50株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年10月期 2 Q	1,427,126株	2019年10月期 2 Q	1,389,701株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2020年6月18日（木）に、アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループが属するクラウドサービス市場においては、クラウドサービスを利用している企業の割合は引き続き上昇傾向にあります。総務省の平成30年「通信利用動向調査」によると、2018年度末におけるクラウドサービス利用企業の割合は58.7%（前年56.9%）に拡大しております。また、同調査によると、資本金規模別のクラウドサービス利用状況においても、大企業を中心に引き続きその利用率は拡大傾向にあります。このように成長を続けるクラウドサービス市場の中で、当社が属するマーケティングオートメーション（SaaS）分野も例外ではなく、今後16.1%（2018～2023年度の年平均成長率）の市場成長率が見込まれております（出展：株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2019年版」）。

一方で、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出とそれに伴う各種経済活動の自粛要請は、当社のマーケティング活動（イベント出展や自社カンファレンスの開催等）にも影響を及ぼしており、今後に向けて十分な商談を確保できない可能性があることや、政府からの自粛要請に伴うオフライン開催でのセミナーやイベント、展示会の開催中止による第3四半期以降の当社のイベントマーケティングサービスへの影響は避けられない情勢となっています。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間における売上高については、最重点方針として取り組んでいるサブスクリプション売上を中心に堅調に推移しました。また、費用面については、イベントマーケティングサービスの通期見通しを踏まえた人件費の調整やマーケティング活動の見直しに伴う広告宣伝費の変動（上期に投下予定であった予算の一部を下期に投下）があるものの、その他は概ね想定通りに推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は965,627千円（前年同期比7.8%増）、営業利益は65,392千円（前年同期は営業損失29,749千円）、経常利益は62,553千円（前年同期は経常損失39,483千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は60,301千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失40,107千円）となりました。

当社グループはマーケティングプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報との関連についての記載はしておりません。サービス別の売上高の概況は以下のとおりであります。

#### a マーケティングオートメーション

当サービスについては、サブスクリプション売上（システム利用料に関するMRR（月額契約金額）から発生する売上＋従量課金売上）は堅調に推移し、当初想定を上回った結果、480,854千円（前年同期比16.6%増）となりました。当第2四半期のMRR（月額契約金額）の新規獲得金額は、大型の案件が多かった前年同期の水準は下回るものの堅調に推移しています。また、プロフェッショナルサービス売上については、納品時期に遅れが発生し、売上計上が第3四半期にずれ込んだ案件があり、当初想定を下回って推移した結果、216,639千円（前年同期比10.3%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における契約アカウント数は、426アカウント（前期末比1.7%増）、当第2四半期連結累計期間における売上高は697,494千円（前年同期比6.7%増）となりました。

#### b イベントマーケティング

当サービスにおけるイベント（システム支援、会期当日支援）関連の売上は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うイベントの開催中止が発生するまでは、前連結会計年度のリピート案件、新規案件ともに順調に推移していましたが、3月後半からは徐々にイベント開催中止の影響が出始め、緊急事態宣言を受けてその影響が顕著になりました。しかしながら、第2四半期におきましては、本来5月以降に会期を迎え、売上を計上する予定であった仕掛案件がイベント開催中止に伴い前倒しで精算されたこと、加えて、前年同期はイベント会期との関係により売上水準が低かったことが重なり、前年同期比では大幅な増加となりました。また、経営判断の下、縮小することとなったイベントプロデュースに関連する売上高も前年同期比で減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は268,132千円（前年同期比10.9%増）となりました。なお、第3四半期以降につきましては、「オンラインカンファレンスサービス」、「ウェビナートライアルパック」、「バーチャルイベントサービス」等の取り組みに注力することで、従来型のオフライン開催イベント中止の影響を少しでも挽回していきたいと考えています。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、1,168,123千円（前連結会計年度末991,514千円）となり、176,609千円の増加となりました。このうち、流動資産は611,237千円（前連結会計年度末455,831千円）となり、155,405千円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が153,217千円増加したことによるものであります。また、固定資産は555,572千円（前連結会計年度末534,130千円）となり、21,442千円の増加となりました。この主な要因は、関西支社移転及び本社内装工事に伴う建物の増加7,293千円並びに関西支社移転に伴う敷金の増加5,035千円によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、659,672千円（前連結会計年度末635,601千円）となり、24,071千円の増加となりました。このうち、流動負債は374,197千円（前連結会計年度末390,591千円）となり、16,393千円の減少となりました。この主な要因は、未払金が27,928千円増加した一方で、短期借入金が25,130千円、支払手形及び買掛金が20,601千円それぞれ減少したことによるものであります。また、固定負債は285,475千円（前連結会計年度末245,010千円）となり、40,465千円の増加となりました。この主な要因は、社債が15,000千円減少、また、長期借入金が55,465千円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、508,451千円（前連結会計年度末355,912千円）となり、152,538千円の増加となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が60,301千円増加したこと、新株予約権の行使に伴う新株の発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ46,749千円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月期の通期の業績予想につきましては、2020年5月28日の「2020年10月期通期連結業績予想値、個別業績予想値の修正に関するお知らせ」で公表いたしました内容から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	177,626	330,843
受取手形及び売掛金	187,447	194,987
仕掛品	33,640	19,062
その他	59,692	69,194
貸倒引当金	△2,575	△2,850
流動資産合計	455,831	611,237
固定資産		
有形固定資産	36,980	44,892
無形固定資産		
ソフトウェア	262,994	277,897
ソフトウェア仮勘定	70,797	56,543
その他	123	1,084
無形固定資産合計	333,915	335,525
投資その他の資産		
その他	163,234	175,154
投資その他の資産合計	163,234	175,154
固定資産合計	534,130	555,572
繰延資産	1,552	1,313
資産合計	991,514	1,168,123
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,967	25,366
短期借入金	25,130	—
1年内返済予定の長期借入金	98,547	109,268
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
未払金	31,035	58,963
未払法人税等	6,564	8,712
賞与引当金	58,752	28,275
その他	94,594	113,611
流動負債合計	390,591	374,197
固定負債		
社債	75,000	60,000
長期借入金	170,010	225,475
固定負債合計	245,010	285,475
負債合計	635,601	659,672
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	386,973	433,723
資本剰余金	307,685	354,435
利益剰余金	△339,643	△279,342
自己株式	△282	△282
株主資本合計	354,733	508,533
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△536	△1,025
その他の包括利益累計額合計	△536	△1,025
新株予約権	1,715	942
純資産合計	355,912	508,451
負債純資産合計	991,514	1,168,123

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
売上高	895,654	965,627
売上原価	377,505	386,121
売上総利益	518,148	579,506
販売費及び一般管理費	547,898	514,113
営業利益又は営業損失(△)	△29,749	65,392
営業外収益		
受取利息	57	30
助成金収入	854	—
保険解約返戻金	390	—
受取手数料	—	73
その他	36	13
営業外収益合計	1,338	117
営業外費用		
支払利息	1,878	1,621
社債利息	227	174
為替差損	818	920
社債発行費償却	238	238
固定資産除却損	7,239	—
その他	670	—
営業外費用合計	11,073	2,955
経常利益又は経常損失(△)	△39,483	62,553
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△39,483	62,553
法人税、住民税及び事業税	623	2,252
法人税等合計	623	2,252
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△40,107	60,301
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△40,107	60,301

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△40,107	60,301
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	435	△488
その他の包括利益合計	435	△488
四半期包括利益	△39,671	59,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,671	59,812
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△39,483	62,553
減価償却費	53,330	56,809
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	274
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,410	△30,445
受取利息及び受取配当金	△57	△30
助成金収入	△854	—
支払利息	1,878	1,621
社債利息	227	174
為替差損益(△は益)	358	609
固定資産除却損	7,239	—
売上債権の増減額(△は増加)	63,347	△7,661
たな卸資産の増減額(△は増加)	△130	14,578
仕入債務の増減額(△は減少)	△26,705	△20,601
未払金の増減額(△は減少)	24,051	28,076
その他	△11,510	20,805
小計	83,100	126,764
利息及び配当金の受取額	57	30
利息の支払額	△1,925	△1,809
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,956	△1,250
助成金の受取額	854	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,130	123,734
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,201	△11,936
無形固定資産の取得による支出	△61,167	△63,308
保険積立金の積立による支出	△5,544	△6,860
保険積立金の解約による収入	5,873	—
敷金の差入による支出	△18,450	△6,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85,491	△88,724
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	120,000	—
短期借入金の返済による支出	△40,320	△25,130
長期借入れによる収入	—	120,000
長期借入金の返済による支出	△45,378	△53,814
株式の発行による収入	698	92,726
社債の償還による支出	△15,000	△15,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,000	118,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	579	△574
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	15,218	153,217
現金及び現金同等物の期首残高	184,914	177,626
現金及び現金同等物の四半期末残高	200,132	330,843

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使に伴い、資本金及び資本準備金がそれぞれ46,749千円増加しております。これにより、当第2四半期連結会計期間末において資本金が433,723千円、資本剰余金が354,435千円となっております。